

定例記者懇談会次第



令和3年1月8日(金) 午後1時15分
牧之原市役所榛原庁舎5階庁議室

1 開 会

2 市長説明

最近の市政運営の状況について

ゼロカーボンシティ宣言について……………資料1

リニア中央新幹線建設工事に関する勉強会の開催について……………資料2

LINEを活用したデジタルスタンプラリーの開催について……………資料3

3 その他主な報道提供資料

- 勝間田城跡整備現地見学会
- 勝間田城址545年記念事業

※1月の行事予定については、令和2年12月25日(金)に郵送済。

4 懇 談

5 閉 会

次回記者懇談会 令和3年1月29日(金) 午後1時15分～

新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた市長からのメッセージ

本日、菅内閣総理大臣より、新型コロナウイルス特別措置法に基づき、首都圏の1都3県に『緊急事態』が宣言されました。

宣言による具体的な対処方針として、飲食店等に営業時間短縮を要請するほか、人の移動に関して午後8時以降、不要不急の外出自粛、また接触機会を減らすため「出勤者数の7割削減」を掲げ、事業者にはテレワークやローテーション勤務の推進が求められています。

一方、小中学校の一斉休校は求めず、大学入学共通テストや高校入試も十分な感染対策を行った上で、予定通り実施する方向が示されています。

現在のところ静岡県は対象地域に指定されていませんが、1月6日（水）には1日の新規感染者が過去最多の87人となるなど、「しばらく新規感染の多い状況が続く」との見方が示されています。

さらに、県では年末年始の帰省を介した家族内感染や感染ルートが特定できない陽性者の発生が増えているとして、感染予防のさらなる徹底が呼び掛けられています。

このように、全国的な感染拡大が懸念される中、市内においても高齢者施設や榛原総合病院において、複数の感染者が確認されましたが、昼夜を分かたず、感染拡大防止に努めて頂いている病院関係者や地域医療を担う皆さまのご尽力により収束の兆しが見え始めています。

そうしたなか、榛原総合病院につきましては、昨年12月に判明したりハビリ病棟でのクラスターは終息するとともに、本日から救急患者の受入れが再開するなど診療体制も徐々に整ってまいりました。

早期の収束に向け、ご尽力頂いている医療介護従事者の皆さまに改めて感謝と敬意を表すとともに、「戦う相手はウイルス！医療介護従事者に感謝」の言葉通り、偏見や差別のない社会を築いていくことが大切だと思っています。

市民の皆さまにおかれましても、今が「感染拡大を防ぐ正念場」であることを再認識していただき、手指の消毒、マスクの着用など新しい生活様式に従って「うつさない、うつらない」を徹底し、感染防止対策に取り組んでいただきたいと思います。

今後も我慢の状態が続きますが、明けない夜はありません。市民一丸となってこの難局を乗り越えていきましょう。

令和3年1月8日

牧之原市長 杉本 基久雄

ゼロカーボンシティ宣言について

環境省では、「2050年に温室効果ガス又は二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを旨とする首長自ら、または地方自治体として公表された自治体」を「ゼロカーボンシティ」として発信している。

当市はこれまで、エネルギービジョンやバイオマスタウン構想を策定し、再生可能エネルギー施設の積極的な誘致を行っており、公共施設には、太陽光発電施設やLEDなどの省エネルギー設備の導入、再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを行い、また、紙類や衣類の回収などの4Rの取組み、市民の意識向上のためのアースキッズ事業、環境教室なども実施し、市民や事業者の皆さんとともに地球温暖化防止対策についての取組を先進的に行ってきた。

今回、「ゼロカーボンシティ宣言」を行うことにより、これらの取組みを加速させるとともに、引き続き市民、事業者の皆さんと行政が協働し、ごみ減量化や温暖化対策の普及、啓発を推進していく。

1 ゼロカーボンシティ宣言自治体（令和3年1月4日時点）

全国：28都道府県、113市、2特別区、48町、10村

県内：御殿場市（R2.2.3）、浜松市（R2.3.30）、静岡市（R2.12.2）

2 経過

R2.9 国の計画（地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画）の見直し開始
（R3年度上半期閣議決定目途）

R2.10 菅首相の所信表明で「2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロ
（カーボンニュートラル）を目指す」ことを宣言

R2.11 衆議院、参議院両院において気候非常事態宣言を可決、採択

3 宣言文

別紙のとおり

4 2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた取組について

引き続き市民・事業者・行政が協働の下、再生可能エネルギー由来電力の地産地消、設備の省エネルギー化、4Rの推進、地球温暖化対策に関する環境教室等を通じた普及啓発を行っていく。また、国・県の計画見直しなどを踏まえ、2026年までに牧之原市地球温暖化対策実行計画を「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」に改訂していく。



牧之原市「ゼロカーボンシティ」宣言

—2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロに向けて—

気候変動問題は、私たち一人ひとり、この星に生きるすべての生き物にとって避けることのできない、喫緊の課題です。

近年、地球温暖化も要因として、世界各地を記録的な熱波が襲い、大規模な森林火災を引き起こすとともに、ハリケーンや洪水が未曾有の被害をもたらしています。国内各所にも、災害級の猛暑や熱中症による搬送者・死亡者の増加のほか、数十年に一度といわれる台風・豪雨が毎年のように発生し深刻な被害をもたらしています。

今も排出され続けている温室効果ガスの増加によって、今後、このような災害等のさらなる頻発化・激甚化が予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たち人類やすべての生き物にとっての生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現すべき事態と考えています。

2015年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を2度未満とする」目標が国際的に広く共有されるとともに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

牧之原市は市民や事業者の皆様とともに、国際社会の一員として、また、本市の目指す将来都市像として掲げる「絆と元気が創る 幸せあふれみんなが集う NEXT まきのはら」、環境像として掲げる「うみ・そら・みどりと共生するまち まきのはら」の実現のため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に果敢に取り組むことを宣言します。

令和3年1月8日

牧之原市長

杉本基久雄

(件名)

リニア中央新幹線建設工事に関する勉強会の開催について

(企画政策部秘書政策課)

牧之原市では、リニア中央新幹線建設工事に伴う大井川の流量減少問題及び南アルプスにおける環境への影響等について「勉強会」を開催します。

今回は、市内利水関係団体等の役員を対象にした勉強会として開催するもので、市民に向けては、後日、市ホームページでの動画配信を計画しています。

報道機関の皆さまには、当日の取材をお願いします。

1 日 時

令和3年2月9日（火曜日）

午後4時00分から午後6時00分

2 会 場

牧之原市相良総合センター い〜ら（ホール）

3 参加者

市議会、自治会、農業・商工業者団体、市幹部職員 合計250名

※新型コロナウイルス感染症予防のため、会場収容人数の1/2定員とする。

※今回は関係する団体役員による勉強会スタイルでの開催とする

4 講 師

静岡県中央新幹線対策本部長

静岡県 難波喬司 副知事

5 次 第

- (1) 開会 (16:00)
- (2) 市長挨拶 (16:00～16:10)
- (3) 講演 (16:10～17:10)
- (4) 質疑応答 (17:10～17:50)
- (5) 閉会 (18:00 予定)

6 担 当

牧之原市役所 企画政策部 秘書政策課 竹内、本間、飯田

電話：0548-23-0052

FAX：0548-23-0059

LINE を活用したデジタルスタンプラリーの開催について

- 1 事業名 RIDE ON MAKINOHARA 商工業者応援デジタルスタンプラリー
- 2 目的 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い客足が遠のいている飲食店など市内店舗への経済活性化対策として実施する。また非接触型のQRコードを活用した仕組みを取り入れることで、キャッシュレス決済促進に向けた具体的な検討を進めることとする。
- 3 概要
[ラリー事業] 1,000 円の商品券 3,000 回分
①スタンプラリーはスマートフォン上のLINEアプリで管理し、参加者はLINE及び市の公式アカウントに登録後、ラリーに参加
②参加者は、決められた期間において、一定の金額以上の買い物をした際、店舗ごとに設定されたQRコードを通じて、スタンプを取得
③スタンプが決められた個数(3個)を達成した時点で、表示された入力フォームに所定の事項を記入し、管理者に送信
④送信フォームから換券者名簿を作成した後、市共通商品券と換券

[キャッシュバック事業] 200 円の割引 10,000 回分
①各店舗でのスタンプ取得に合わせ、一定の金額を店舗で割り引く
- 4 スケジュール
12月23日(水) 参加店舗募集開始
1月8日(金) 参加店舗募集締め切り(約100店舗の参加)
20日(水) 参加店舗説明会(榛原地区) QRコード、チラシ配布
21日(木) 参加店舗説明会(相良地区) 〃
25日(月) アプリ完成、テスト開始
2月1日(月) スタンプラリー開始
3月14日(日) 〃 終了
- 5 備考 県内初!LINEを活用した非接触型のスタンプラリーである。

RIDE ON MAKINOHARA 商工業者応援 デジタル スタンプラリー

市内でお買い物をして**商品券をGET**しよう！

デジタル スタンプラリーとは...

市LINE公式アカウントを活用したスタンプラリーです。
新型コロナウイルスの感染拡大により、影響を受けている
市内店舗への経済活性化対策として実施します。

今すぐ
参加する!!
(市LINE公式アカウントを
友だちに追加する)



×



=



実施期間

R 3.2.1 (月) ~ R 3.3.14 (日)

お得ポイント

スタンプ付与時に**200円割引**

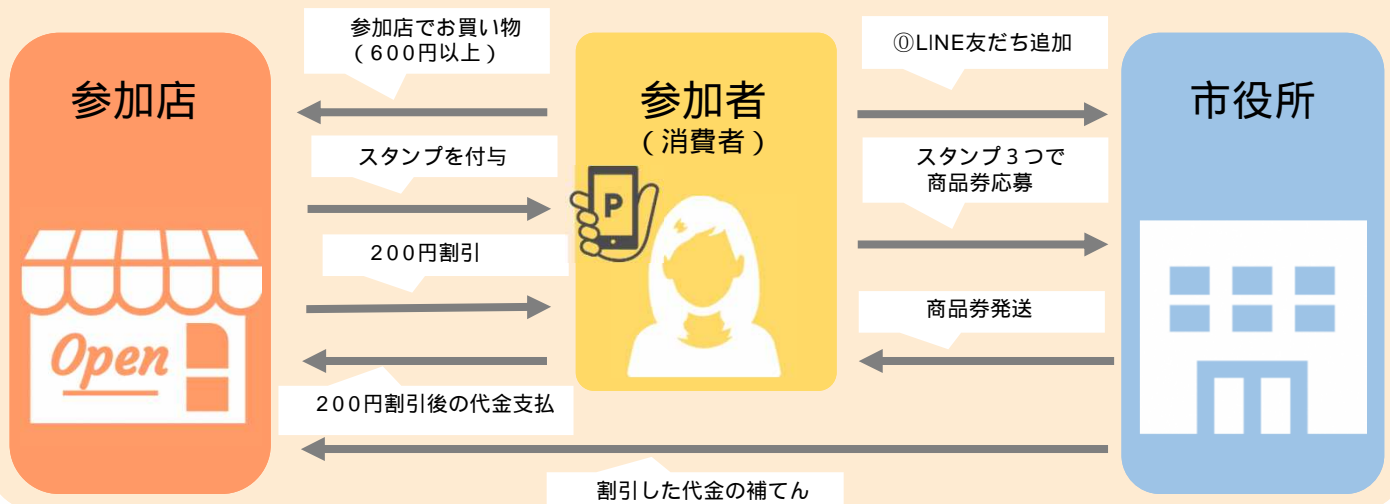
割引人数の上限あり
割引対応なしの店舗あり

お得ポイント

スタンプ3つで**商品券1,000円分**

換券数の上限あり

- デジタルスタンプラリーの仕組み -



【お問合せ先】 牧之原市商工振興課 (相良庁舎 2階)
TEL 0548-53-2647 / FAX 0548-52-3772
牧之原市情報交流課 (榎原庁舎 5階)
TEL 0548-23-0040 / FAX 0548-23-0059

詳細はこちらから

牧之原市 デジタルスタンプラリー

検索

(施策、イベント、行事等の名称) 勝間田城跡整備現地見学会	【問い合わせ先】 牧之原市教育文化部社会教育課 担当：相良文化財調査事務所 文化財調査官 松下善和 TEL/FAX：0548-53-0120 090-3389-7798(現場)						
日 時	令和3年1月23日(土曜日) 午前10時30分～午前11時30分【雨天中止】						
場 所	勝間田城跡（牧之原市勝田 2174-6 勝間田城下駐車場集合）						
担 当 課	教育文化部 社会教育課						
<p>1. 事業趣旨</p> <p>勝間田城跡(静岡県指定史跡文化財)周辺は良好な里山でしたが、近年荒廃樹木が密生し、山城本来の形状が不明瞭となっています。樹木は風倒木・土砂崩れの恐れ等、来城者への安全上の課題を生じさせています。</p> <p>牧之原市は、「森林環境譲与税」を活用した文化財関連への県内初の取り組みとして、勝間田城跡周辺森林整備事業を実施しています(令和2～7年度予定)。今回は、城跡の歴史と自然をどのように整備・活用していくべきかを考える整備事業現地見学会を実施します。</p> <p>2. 参加者 勝間田区民（勝間田城趾会等の勝間田城跡保護団体）</p> <p>3. 内容</p> <p>城跡の整備と歴史について、市学芸員が解説します。参加者は、事前に諏訪原城跡（島田市）整備状況視察も実施します。</p> <table data-bbox="295 1585 1257 1720"><tr><td>令和2年度事業範囲</td><td>約 2,000 m²（勝間田城跡三の曲輪周辺）</td></tr><tr><td>事業費</td><td>約 600 万円</td></tr><tr><td>事業期間</td><td>令和2年11月下旬～令和3年3月上旬</td></tr></table> <p>※なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により、開催方法等が変更になる場合があります。</p>		令和2年度事業範囲	約 2,000 m ² （勝間田城跡三の曲輪周辺）	事業費	約 600 万円	事業期間	令和2年11月下旬～令和3年3月上旬
令和2年度事業範囲	約 2,000 m ² （勝間田城跡三の曲輪周辺）						
事業費	約 600 万円						
事業期間	令和2年11月下旬～令和3年3月上旬						
(添付資料) ・無							

<p>(施策、イベント、行事等の名称)</p> <h2>勝間田城跡 545 年記念事業</h2>	<p>【問い合わせ先】 牧之原市企画政策部地域振興課 勝間田区絆づくり事業グループ 加藤正直 090-5639-0600</p>
<p>(内容)</p> <p>1. 事業趣旨</p> <p>勝間田城跡(静岡県指定史跡文化財)は、地域・学校の名称にもなっている郷土の武将(勝間田氏)によって築かれた山城で、今年廃城 545 年を迎えます。</p> <p>牧之原市勝間田区絆づくり事業グループでは、勝間田城跡の保存・観光PR・勝間田区の地域活性化を目的として、勝間田城跡 545 年記念事業をおこないます。</p> <p>2. 概要</p> <p>(1) 御城印 (545 年記念押印版) の販売開始</p> <p>販売開始日時： 令和3年1月16日(土) 午前9時00分～ 販売価格： 1枚300円 販売場所： 扇松堂菓子店(牧之原市勝間239) (通常営業時間8:30～19:00 水曜休み) TEL0548-28-0036 牧之原市史料館(牧之原市相良275-2) TEL0548-53-2625 (開館時間9:00～16:00 月曜日・祝日の翌日・年末年始休み) 牧之原市史料館では、「御城印カードガチャマシン」にて購入いただけます。 1月16日(土)～2月28日(日)は、史料館企画展「郷土の豪族・勝間田氏」にて、勝間田城跡発掘品等を御鑑賞ください(入場大人220円・小人110円)。 御城印の収益金は、勝間田城の環境整備に活用します。</p> <p>(2) 勝間田城パンフレット寄贈・配布</p> <p>これまでの御城印収益金を活用したパンフレット(改訂版)を牧之原市に寄贈・訪城者へ配布します。</p> <p>配架場所： 勝間田城跡・市史料館・榛原庁舎・相良庁舎など 発行部数： 5,000部(A3サイズ観音折り) 内容： 勝間田城の縄張図、各遺構の解説、勝間田氏の歴史 御城印紹介など 編集・発行： 牧之原市教育委員会</p>	
<p>(添付資料)</p> <p>・勝間田城パンフレット</p>	